



# 学校だより

令和2年度小川中学校  
令和2年11月18日 発行

NO, 9 文責:小林 浩一

<令和2年度後期始業式の校長講話より 11月2日(月)>



山々の紅葉も次第に美しさを増し、もうすぐ冬の足音が聞こえてきそうです。いのち一杯燃える秋に終わりを告げる頃、私たちも山々の紅葉のように、いのち一杯輝かせて生きていきたい。そんな物思う秋が深まる今日この頃となりました。

昨日、一昨日の土日はバレーボールの長野上水内新人戦がありました。土曜日の午前中はオンラインでの会議がありましたので、午後、藤井先生から連絡をもらって男子バレー部の応援に行きました。会場に着くともう試合前の練習をしていましたが、私の顔を見ると小川中の生徒が駆けつけてくれて「こんにちは」と挨拶をしてくれました。きっと部活動や、学年・学級、家庭などで挨拶の大切さを教えてもらっているんだなと思うと共に、どこでも挨拶ができる小川中の子の素直さに嬉しくなりました。試合

が終わると、中条・東部・小川の全員で応援のお礼に来てくれました。また一言アドバイスをお願いしたいということで、試合の感想や今後チームに必要なことなどを話させてもらいました。選手は勿論、中条や東部の先生も真剣に私の話を聞いていました。この先生の姿があるから、選手も伸びていくんだなと感じる場面でした。向上心あふれる姿に感動しました。

昨日は三陽中学校で女子バレーの本部長を一日務めました。4チーム集まっていますが、朝会場に行くと、どのチームの子も「おはようございます」と笑顔で挨拶をしてくれます。気持ちのいい挨拶をしてくれるチームが集まっていました。一日中、体育館の中や通路ですれ違ふと、礼をしてくれたり「こんにちは」と挨拶が返ってきます。部活動で大切なことを学んで、それが身に付いている姿に嬉しく思いました。



閉会式で全体に話をしたあと、個人的にアドバイスを聞きに来る選手も何名かいました。その学びたいという向上心あふれる姿に、私が学ばさせてもらいました。私自身、とても意味のある週末を過ごすことができました。

小川中学校の令和2年度の前期は、「給食チェック週間」で日頃の活動を見直し、「ポジティブウイーク」での活動と共に終了しました。先週木曜日にお昼の放送と昇降口の掲示板で、南アフリカのネルソンマンデラさんの言葉が紹介されました。「何事も成功するまでは不可能に思えるものである」という言葉です。皆さんも知っているでしょうか。南アフリカは何十年もの間、アパルトヘイトと呼ばれる人種隔離政策。白人と白人以外の人々の住むところ、仕事、使える店やレストラン、バス、全てを国の法律で分け、白人以外を徹底的に差別することをしてきた国でした。選挙に参加できるのも白人だけでした。

私も大学生の頃に、この南アフリカのアパルトヘイトを全世界に伝えた映画「遠い夜明け」を見て、大変ショックを受けました。この映画の元のタイトルは「クライ・フリーダム」と言います。「自由を求めての叫び」と訳されるでしょうか。黒人やアジア系の人種の人権を全く無視した国の政策に怒りを覚えたもので

した。その南アフリカを先頭に立って変えてきたのがマンデラさんでした。アパルトヘイトを廃止し、国民の全員が選挙で投票できるようにし、そして彼は大統領になりました。そこまでの道筋の中で、何度も「この国を変えるのは不可能だ」と弱気になったのではないのでしょうか。アパルトヘイトを無くす運動をしていたため、何度も牢屋に入れられ、ひどい拷問を受けながらも、運動をやめませんでした。そのマンデラさんの生涯を表す言葉が今回紹介され、うれしく思いました。そして私自身、アパルトヘイトをはじめとする様々な差別について考えてきたこと。今現在考えていることを、改めて見直すことができました。もしかしたら、このポジティブウイークで一番得をしたのは、私かなと思っています。

昨年秋のラグビーワールドカップ日本開催を、皆さんは覚えていると思います。準々決勝で圧倒的なパワーで日本を破り、そのまま南アフリカが優勝したことも覚えているのではないのでしょうか。3度目のワールドカップ制覇でしたが、黒人で初めてキャプテンを任されたコリシキ選手が中央でトロフィーを頭上に掲げたシーンでは、感動で涙が流れました。実はアパルトヘイトが続いている間、南アフリカでは白人以外はラグビーをすることが許されなかったのです。これもマンデラさんが変えました。全ての人種が力を合わせて楽しめるスポーツへと。

マンデラさんが大統領の頃、会議では自分の意見を言わずに黙っていて、裏で他人の悪口を言いふらすような者には、相手が白人であれ黒人であれ、激しく叱りました。言いたいことはみんなの前で言う。裏での悪口からいじめや差別が始まる。そして元の南アフリカに戻ってしまう。この考えは徹底していました。

そのマンデラさんも、亡くなってから6年あまりとなります。アメリカでは明日、大統領選挙が行われます。ここ数年、ブラック・ライブズ・マターという運動が盛んに行われています。黒人の命の大切さを訴える運動です。女子テニスの大阪なおみ選手も、抗議のマスクを付けて試合に臨んでいました。この現状を遠い場所からマンデラさんはどんな思いで見ているのでしょうか。このままではいけない。何かしなければと考えている方はたくさんいるでしょう。皆さんの中にも何人もいるでしょう。そのためにもっともっと色々なことを知って、いろいろなことを学びたいと思っているのではないのでしょうか。

秋は学びが深まる時期です。先ほど生徒代表で2年生の男子から発表がありました。三つの目標。その中でも、特に勉強への思いが熱く語られていました。

小川中学校の目標「つよく やさしく 思慮深く」。学ぶことによって私たちは強くなれる、学ぶことによって私たちは優しくなれる、学ぶことによって私たちは思慮深くなれる。マンデラさんの生き方を学ぶだけで、マンデラさんの強さ、優しさ、思慮深さを学ぶことができます。

学ぶこと、学び続けることで人は変わっていきます。11月は霜月です。日に日に寒さが増してきます。その中で霜を浴びる度に畑の冬野菜であるほうれん草は甘みを増していきます。私たちもこの秋、学ぶことを通して、秋の深まりと共に成長していきましょう。

### <後期始業式生徒代表あいさつから 11月2日>



後期始業式では、生徒代表の2年男子が後期の目標を3つ発表してくれました。一つ目は学習、分からない所は分かるまで先生方に聞いて、テストでは納得のいく得点を取りたい。そのためには授業の準備、忘れ物をしないことをきちんと行いたい。二つ目は生徒会、3年生を見習い、3年生が行ってきたように、様々な行事を行って、みんなが過ごしやすい学校にしたい。三つ目は体調管理をきちんと行って、体調を整えたい。手洗い、うがい、マスク着用、3密を避け、ソーシャルディスタンスを守りたいと発表してくれました。みなさんも後期の目標を決めたと思います。目標が達成できるように、日々、がんばっていきましょう。

## 1 1月の行事より

### < 第39回長野県中学校新人体育大会体操競技の結果報告 11月3日(火) >

第39回長野県中学校新人体育大会体操競技がホワイトリンクサブアリーナで行われました。出場した男子の各種目の成績は、床5位、跳馬7位、鉄棒5位、あん馬10位。そして総合8位でした。

今後体力がついてくれば、さらに好成績が残せそうな演技だったと聞いています。次の大会を楽しみにしています。



【跳馬の演技】

### < 中条中学校との合同授業(3学年) 11月4日(水) >

3年生は中条中学校とパソコン室でZoomを使った英語でのオンライン合同授業を行いました。オンライン授業も数回行う中で、徐々に慣れ、今回はお互いの文化祭の写真や動画を見合いながら会話をする内容でしたが、積極的に英語で話しかけ、相づちしながら会話を続けていく姿も見られ、さすが3年生だなと感心しました。

ここまでの合同授業では、直接会っての交流はできず、全てオンラインでの授業でしたが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、今後活かしていけると感じました。これで今年度の3年生の合同授業は終了となります。今後は、2年生が合同授業を行っていきます。



【全体共有画面】



【グループセッションでの会話風景】



### < 第64期生徒会正副会長選挙始まる 11月6日(金)~11月19日(木) >

11月6日(金)に第64期生徒会正副会長選挙の告示が行われ、翌週の朝からは、第64期生徒会三役候補者、推薦責任者のみなさんが朝から昇降口前中央廊下前に立ち、あいさつをしています。

朝、7時過ぎには登校し、肩から「たすき」もかけている姿を見ると、候補者のみなさんのやる気を感じます。

教室訪問では、緊張感ある中で、候補者のみなさんが、来期生徒会への抱負を堂々と話していました。それに対して、各学年で質問意見も出されていました。11月19日(木)には、立会演説会、投票が行われます。候補者の演説内容をよく聞いて投票に臨んでください。



【朝廊下に立つ候補者、推薦責任者のみなさん】

## < 心の健康教育 (1 学年) 11 月 11 日 (水) >

1 学年では、「心の健康教育」がスクールソーシャルワーカーの小巻先生をお招きして行われました。1 時間目は全体で授業を行い、人が生きていく上で様々なことがストレスの源になることや、それを放っておくと心身の不調を引き起こすこと、またその対処法について学びました。その後は、個別にストレスチェックを行い、個別面談を行いました。普段の生活で、担任の先生以外に相談することが少ない中、今回、話を聞いてもらう機会となりよかったですと思います。今後も相談したいことがあるときは、保健室、校長室も相談を受け付けていますので、気楽に来てください。



【小巻先生の授業を受ける生徒たち】

## < 平和学習の旅① (2 学年) 11 月 11 日 (水) >

2 年生は、平和学習を重ねてきましたが、戦争遺構を実際に体験する、「平和学習の旅①」に出かけました。松代大本営跡の案内は西条さんをお願いしました。事前の学習と西条さんの説明を聞きながら大本営跡地を見学し、様々なことを感じたようです。例えば、古い削岩機のロッドの一部が残っていたり、ダイナマイトで爆破して掘り進めたりしたことを聞き、驚きを感じると共に、危険な作業を朝鮮人の人々に行わせたことに対して憤りをおぼえた人が多かったようです。

上田市の「無言館」では、若くして画業を断念しなくてはならなかった人々の作品に見入り、説明書きを一つ一つ読み、メモを取る姿から、戦争の悲惨さや画学生たちの無念さを感じ取っていたようです。平和学習の旅②は延期となり、実地での体験はしばらくできませんが、様々な視点から平和学習を続けていってください。



【西条さんたち】



【松代大本営跡防空壕に入った所】



【無言館の窪島館長蔵書棚の前】

## < 薬物乱用防止教室 (3 学年) 11 月 11 日 (水) >



3 年生は、学校薬剤師の金川和之先生を講師に迎え、「薬物乱用防止教室」を行いました。法律で使用を禁止されている薬物の体や心に及ぼす危険性や、違法薬物を使用した可能性がある場合には徹底的に警察に調べられ、必ず逮捕されること、薬物中毒の症状から周りの人にも分かってしまうこと、さらには、たばこや飲酒、処方された薬でも飲み方次第で害になることについてもお話ししていただきました。

非合法の薬物には手を出さないのはもちろん、普段飲んでいる薬についても、用法、用量を守っていききたいですね。

## <生徒集会から 11月12日(木)>



生徒集会では、アルミ缶の回収を13日(金)で一旦区切りとするが、今後も継続して回収は続け、時期生徒会に引き継ぎたいという事務局からの話がありました。集会の最後の質問意見の場面では、3年生の発言に、来期に向けてアルミ缶回収を続けてほしいとありました。2期続けて行ってきた活動であることも踏まえ、回収の目的も含めて、今後どうしていくかを新生徒会で検討していきましょう。

生徒会長挨拶では、生徒会引き継ぎの時期になったが、引き継ぎへの意識を高めてほしい。今年0~10成長できたとしたら、今、しっかり振り返りを行うことで、来年は10~20へと、さらに成長できると思う。あと2回の生徒会となったが、最後の締めをきちんと行ってほしい。とありました。今期の生徒会活動のまとめ、そして、来期生徒会活動についてみんなで考えていきましょう。



## <人権学習講演会 11月13日(金)>

人権学習講演会が、だいで食堂パチェコ代表、中村雄弥さんを講師にお招きして行われました。演題は「貧困国におけるこどもの権利」~青年海外協力隊としてアフリカに派遣されて~でした。

中村さんは、新聞記者を経て青年海外協力隊に入隊し、マラウイ国のエイズ対策隊員としてアフリカに行かれた経験を元にお話しをしてくださいました。



最初に子どもの権利条約が世界の多くの国々で批准されているが、マラウイ国のような最貧国(世界で4番目、1日の生活費は一人1ドル以下)では守られていないこと。マラウイ国のように貧しい国では、男の子が学校に行っている間、水くみや食事の支度、兄弟の世話は女の子の仕事で、普通の生活を送ることも難しい現状におかれていることを教わりました。

水運びの仕事は女の子でも30kg程度をこぼさないように運ぶそうで、それに近い体験を代表生徒が行いましたが、持ち上げるだけでも大変そうでした。そして、そんな国の子どもの権利を守るためには、直接支援することは難しくとも、生徒会がアルミ缶回収資金をユニセフに寄付することも、間接的な支援であることも教わりました。アルミ缶回収の目的や資金を寄付する意味がより理解できたのではないかと思います。

また、アフリカ=かわいそう、貧しさ=不幸ではないこと、自然や人との距離が近いアフリカの生活はとても「人間らしく」心地よい。アフリカでも、日本でも人の基本は同じという言葉が印象的でした。

## <令和元年度PTA正副会長への感謝状贈呈式 11月13日>



人権学習講演会に引き続いて、令和元年度PTA正副会長への感謝状贈呈式が行われました。例年であれば、PTA総会時にお渡しする感謝状ですが、コロナ禍の中、この時期となってしまいました。残念ながら副会長さんはお仕事の都合で直接お渡しできませんでしたが、後ほどお渡ししたいと考えております。

会長、副会長様、昨年度一年間誠にありがとうございました。

## ＜長野県（北信）新人中学校体育大会バレーボール結果」10月14日（土）＞

バレーボール部のみなさんは北信新人大会ご苦労様でした。男子は合同チームの他校の新型コロナウイルス感染による学校事情から残念ながら棄権となってしまいました。女子は、中野平中・高社中合同チームと対戦し、惜しくも敗れてしまいましたが、随所に練習してきた成果がみられました。これからは練習時間も短くなります。短時間でも効果的な練習を計画して行ってください。



## ＜お知らせ＞

### 【2学年、満蒙開拓記念館訪問延期について】

11月14日（土）に北信圏域の新型コロナウイルス特別警報がレベル4に引き上げられました。

学校がある長野市、上水内各町村の圏域が、直近1週間の10万人当たり新規感染者数が10.0人を上回り、長野県のレベル4特別警報になった場合は、校外活動は実施しないこととなっています。したがって、11月18日（水）に計画されていた2学年の満蒙開拓記念館訪問は延期とさせていただきます。延期先の期日については、感染状況と県の特別警報レベルをみて、考えていきたいと思っております。

なお、村内における校外活動については、今後の感染状況を考慮しながら実施する方向で考えております。

### 【レベル4における学校生活での注意事項について】

職場や会食等での感染の広がりが深刻になってきております。北信地域でも保護者から生徒への家庭内感染がいくつも報道されております。他校の例を見ますと、学校内での濃厚接触者は、「マスクをしないで会話が可能な範囲」の場合認定されています。そこで以下の3点を今後全校で行ってまいります。

- ①給食時は会話をひかえること。
- ②技能系教科、保健体育、音楽、技術・家庭科、美術においてもマスクを着用する。  
※着用できない場合には十分な距離をとる。部活動も同様とする。
- ③登下校時はマスクを着用する。

### 継続してお願いしたいこと

- ・「手洗い、うがい」は引き続きこまめに行う。特に食事前はきちんと手洗いを行う。
- ・「マスク着用」登下校も含め、常時着用する。
- ・「換気」休み時間毎に5～10分程度行う。
- ・「検温」登校前にご家庭で検温をお願いします。かぜの諸症状のある場合には、登校を見合わせてください。出席停止となります。学校では、朝の健康観察までに教室にて非接触式の体温計で検温する。
- ・部活動の土日の練習試合、コンクールについては、今後変更等がある場合には各部の顧問を通してお知らせします。

○GIGA スクール構想（生徒一人にタブレット一台）により、まず教室に「パソコンラック」（写真）が設置されました。一見すると冷蔵庫のような外観ですが、開けるとパソコンを20台程度置けるスペースがあり、充電もできるようになっています。パソコン本体は、12、1月中には納品され、各授業で活用される予定です。

